

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年3月13日 No.35

3・1ピキニデーでの確信力に、報告会、署名行動、非核日本宣言運動、被爆者援護連帯活動など、各地で行動がとよめられています。

## 3・1ピキニデー 報告集会ひらき2010年に向けた出発点に一長崎



長崎県原水協は3月7日、ピキニデー集会・報告集会をひらき、柴田代表理事はじめ、民医連、新婦人などから24人が参加。ピキニデー参加者5人が映像に沿って報告しました。

代表からは、「長崎に生まれ育ちながら、自分がどんなに無知なのかを思い知らされた。大石さんの被爆体験を聞き、核兵器の見えない恐ろしさを感じ、核兵器は廃絶しかない強く思った。自分が学習して多くの人に伝えて行きたい」、「3年連続参加したが、毎年勉強になる」などの報告があり、報告を聞いた参加者からは「スライド報告は

分かりやすかった。東富士を見て腹が立ったし、原水爆禁止運動の原点を思い起こした」などの感想が出されました。長崎県原水協は翌8日、鉄橋で「原爆症認定制度改定」を求める署名を行い、民医連を中心に12人が参加。136筆の署名が集まり、被爆二世の男性から「頑張ってください」と募金が寄せられました。

## 「卒業記念に反核平和の一筆」と署名 — 宮城

宮城県原水協は3月6日、仙台市の繁華街で、すみやかな核兵器の廃絶を求める署名行動を行いました。連続196回目の「6・9行動」には、松野豊、真壁寛一両代表理事と平和委員会、新日本婦人の会、宮城民医連からあわせて16人が参加しました。

「卒業記念に反核平和の一筆」と署名する女性、「ヒロシマ・ナガサキを忘れてはいけませんね。ごくろうさまです」と激励して署名する人たちなど99人から署名が寄せられました。



## 原爆症問題の抜本解決訴え「6・9」行動—兵庫



兵庫県原水協は3月6日夕方、神戸市中央区の元町商店街で、核兵器廃絶などを訴える「6・9行動」を行いました。中央区原水協の渡部昌武事務局長はじめ新婦人、兵商連、AALA連帯委員会、平和委員会などから参加した13人が、「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名と、原爆症認定制度の抜本的改正を求める緊急署名を訴えました。

展示した被爆写真に見入っていた青年は、「こんなにひどいことをくり返したらだめですね」と言いながら署名しました。この日の行動で、「核兵器廃絶」署名が89人分、原爆症署名が64人分集められました。

緊急院内集会  
午後2時～4時 参議院議員会館 第1会議室

「被爆者に春を！」大行動 「原爆症認定制度の抜本改定を求める緊急100万人署名」提出行動 厚労省前に集まろう！

3月14日 明日午前11時45分から午後1時まで